

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター のぞみ (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援教育を熟知したものが訪問しており、学校で行える支援についてその場で具体的に提案すること。	子どもの状態像(困難さの背景や特性)について、評価を行いそこから支援方法について考えているが、いわゆるマニュアルに載っているような方法ではこどもが主体的に取り組めないことも多くある。こどもの発達特性に加え、その子の性格なども考慮し教材やアプローチの方法を考え提案していくように努めている。	特別支援の技法については、どんどん新しく情報が更新されていくため、職員一同研鑽に励んでいきたい。
2	報告や相談を話し合い、電話、文書などで行い、訪問先の時間的制限に配慮している。	訪問支援を受けることが先生方の負担とならないように心がけている。学校内の複数の先生方で情報を共有していただけるようメールや文書で報告をしたり相談に応じるようにしている。こどもの対応について、学校から連絡をいただいたことも多くあった。そのことを他の学校にも伝えると学校側から事業所に連絡することの敷居が低くなったようで、さらに連絡をいただけるようになっている。	先生方の時間的制約への配慮はもちろんだが、こどもへの支援に還元されていくような情報の共有の仕方を今後も検討していく。また、同じ子どもの応援団と先生方が感じていただけるよう関係づくりに努めていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基本的に保護者の依頼の元、訪問支援にあたっており、依頼がない場合にこどもの困り感に気付きにくい。こちらから連絡する、その後の様子を頻繁にうかがう等、柔軟な対応がとれていない。	現在は保護者の依頼があった時に相談を受けたり、訪問を行ったりしています。相互に連絡する時期やタイミングなど、連絡システムを決めていない。	保護者や学校からどのようなときに連絡をもらうようにするのか、またそういった連絡がなくてもこちらから定期的に連絡をする連絡システムについて整備し、相互で共有していく。
2	訪問時の観察や本人、保護者、訪問先の先生方からの話などから、アセスメントを行っていますが、身体の使い方や教材教具の工夫など、より多面的な視点で子どもをアセスメントすることの必要性を感じている。	訪問支援員の専門性に偏りがある。	地域やこどものニーズに応じて、多職種による訪問を取り入れ、保育所等訪問支援に携われる人材を育成していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 とも発達支援センターのぞみ

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 5名

回収数 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			2		子どもに合わせた教材教具また、学校で準備しやすいものを提案できるように努めています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5					個室での面談を行っています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5					契約の依頼があった際にご説明しています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5					こちらからお声掛けすることもあります が、基本的には保護者の希望に応じて決定しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4	1				現在、訪問支援員は、作業療法士、社会福祉士、保育士などの資格を持った者を、2名配置しております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	4	1				訪問時の観察だけでなく、保護者や先生方からも様子についてお聞きし、様々な情報から子どもについて理解しようと努めています。また、学校で実践が可能な支援を提案するようにしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	5					保護者や先生、本人の思いなども考慮し、今後の進路等も含め、今の子どもに必要な
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	4				1	先生方の意見も聞いた上で、総合的に考えます。子どもの立場に立った支援内容を重視しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	4				1	子どもへの支援、先生方への支援、ご家族への支援を考えながら、支援を行っています。特に、合理的配慮という視点で社会的障壁を取り除く支援の提案が多くなっています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	5					計画に沿って支援について先生方と考えていき、必要があれば計画の変更を行います。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	5					訪問サービスについて、学校の管理職の先生にまずご説明をした上で訪問しています。一方的に支援を提案するのではなく、先生方と協力して子どもの支援を行えるよう配慮しています。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					契約の際や利用料に変更があった際に、ご説明しています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					訪問支援計画について、ご説明しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1		1		現在、各子どもさんに応じた情報提供等は行いますが、一斉の研修や情報提供の機会といった場は設定できておりません。今後検討していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	5					必要に応じて電話やメール等で情報を共有できるよう努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					必要に応じてこちらからお声掛けし、面談を行ったり、電話で相談に応じるなどさせていただきます。また、相談支援事業所と連携し、困り感などを把握するよう努めています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	5					子どもさんと保護者様のサポーターとしてかわらせていただいています。

説明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				相談等についてなるべく迅速に対応できるよう努めています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				就労されている保護者への時間的配慮や情報がより伝わりやすいようにという観点で、電話、文書、メールなどの伝達方法を使い分けています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5				訪問施設から何度かお電話で相談を受けたことがあります。学校から相談をしていただくことは非常にうれしく思います。適切に対応をさせていただいています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5				今年度は、休み時間や昼休みなど訪問時に話し合いの時間をとっていただける場合が多く、話し合いの場をしっかりと設けることができています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				訪問後、対面の面談や電話、メールなどで情報の共有を行っています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		1		法人のホームページで自己評価の結果を公表しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				十分留意しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4		1		緊急時対応マニュアルを立てています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				安全計画を立てています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				訪問時子どもたちへのストレスにならないよう配慮しています。必要に応じて、教室の外から観察することもあります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	1			適切な支援をしていけるよう努めています。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 2月 28日

こども発達支援センターのぞみ

利用児童数

5名

回収数 5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			本人の実態を踏まえて分かりやすいものでした。 ひらがな指導では、児童と実際にやりとりをしながら指導していただきました。文字の形の違いをどう見分けるか等、児童の実態に合った工夫を教えてくださいました。 すぐに取り入れられる支援方法を提案していただいていると思います。	本人の実態や学級環境の実態に合わせて、具体的に支援を提案させていただくよう努めています。現在支援されていることについての意味付けや、そこから広げたり深めたりできることの提案に努め、持続可能な支援の提案を心がけています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			いろいろな手立てや知識を教えてください、児童のためになることが多かった。 児童の課題や困難さを伝えた時に学校生活だけでなく、他の可能性や支援方法を教えてくださいました。例えば登校した時に楽しそうな活動を取り入れたり、児童と話して一日のことを自己選択させたりすることです。 適切な支援方法や教材等を紹介していただき、日々の学習に活かすことができていると思います。	子どもたちの困り感に対して、作業療法士や保育士など多職種で連携し、多面的な視点で考え、より安全な支援方法をご提案できるよう努めています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			普段の見立てから感じていらっしやることを踏まえて、回答していただいた。 児童の実態や成長を評価するとともに、ひらがな指導や算数で児童のやる気を高める導入や活動を教えてくださいました。当該児童は身体を動かしながらゲーム感覚で遊びながら学ぶことが有効だったように思います。	訪問時にいただく質問については、必ずお答えするよう努めています。その際、学校でできること、このクラスでできること、放課後等デイサービスなど学校以外ですることなど、課題について多面的に、具体的にお答えするようにしています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5			課題や困りごとについて共有し合うことで、解決策や軽減策が分かって良かった。 登校渋りが軽減されたり、学びに向かう様子が見られたりと児童の成長を促していただきました。 保護者に直接話しづらい内容の相談にのっていただくことができ、課題が軽減されました。	支援方法によってすぐに解決する課題もあれば、時間がかかるものも多いと考えています。ただ先生方は毎日子どもたちと向き合っており、子どもたち、保護者様、先生方と安定して毎日を過ごせる訪問支援を行えるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			大変満足しています。 大満足です。いつもお世話になっています。今後もよろしくお願いいたします。	ありがとうございます。今後も先生方と協同して子ども達の支援を考えていきたいと思っています。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
とても丁寧な指導が多くされており、利用者さん一人ひとりのことをよく把握されていることが節々から感じられました。来校の際には、支援について考えさせていただき、共有、共感できたことを大きな支えとなりました。 いつもお世話になっています。児童の成長に繋がる支援を教えてください、ありがたい気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願いいたします。 いつもありがとうございます。今後中学進学、その後に向けて今後もよろしくお願いいたします。					貴重なご意見をありがとうございます。子どもの支援を考える時には、認知面、行動面、身体面、学習面やその子の性格など様々な視点から考える必要があると思います。そのため、訪問支援を行い複数の視点から子どもの支援を考えることを大変意義のあることと考えています。 子どもを取り巻く支援について、学校だけでなく、家庭、放課後等デイサービスなどの福祉や地域など様々な支援資源があります。役割分担をしながら安全な子どもたちの支援について先生方、保護者の皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。 今後ともよろしくお願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センターのぞみ（保育所等訪問支援）		2026年 2月 28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		本人が興味をもって取り組みそうなこと、本人の困難さを補うようなもの、先生が準備しやすいものといった視点で教材について考えています。今年度は既存の教材を貸し出すこともありました。	今後も、子どものより良い学びにつながる教材や学校で使える教材などの情報を得ていきます。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		訪問支援員を2名配置しています。		
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		訪問時には、そのときの様子と提案した支援について共有します。その後、改善点やより良い支援などの提案が出れば、すぐに再度訪問施設に提案するようにしています。	今後も複数名の職員で意見を出し合いながらより良い支援について検討していきます。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者評価を利用し、業務改善に努めています。また、面談等を通して随時保護者からの意見を聞き、支援に反映させています。		
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員からの意見を聞き、業務改善につなげています。	今後も行っていきます。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		今年度より、外部評価を行っています。		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		定期的に外部研修を受け、内部研修にて共有するなど行っています。	よりよい支援ができるよう、職員の資質の向上に努めてまいります。	
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		保護者のニーズ、子どもの行動や様子の背景にある発達的特徴、教室での物的環境や環境を総合的にアセスメントし、支援の方向性や手段を計画しています。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		計画を含め、学校での様子などを様々な職種の職員で共有し、多面的な意見を取り入れるようにしています。		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		子どものニーズに基づいて作成し、子どものニーズについて共通理解を得られるよう努力しています。	今後も、子ども、保護者、担任の先生など子どもにかかわる支援者が共通理解をもてるよう努めていきます。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画に基づいて支援を行っています。		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		必要に応じてJSI-RやURAWSSなど簡易なアセスメントツールを用い、他機関でとったWISCやK-ABCとバッテリーで評価を行うことがあります。	保育所等訪問支援で行うことのできるアセスメントについて、より情報を得ていきます。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		行動支援においては、行動について評価し具体的に支援方法を提案したり、学習面においては、困難さの背景に応じて教材等を提案するなど、先生方がすぐに実践できるよう具体的に提案するよう心掛けています。	先生方と共通理解をもって、子どもたちに支援している支援内容の提案に努めていきます。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画に基づいて支援を行っています。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		事前に保護者から現在の様子をうかがい、支援を行うべきポイントや学校と検討すべきことを共有した上で訪問支援にあたっています。		
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		事後には職員に報告し、振り返りをする中で更に伝えるべき内容などを整理し、電話やメール、文書で報告することもあります。			

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	学校の教育課程や物的、人的環境などがある程度把握した上で、できそうな支援について提案し、双方で検討していくようにしています。	先生方の意見を聞きながら、先生方のニーズにも合った訪問支援を行っていきたく思います。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	毎回支援記録をとり、保護者や学校と訪問後に再度共有するなどしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	定期的にモニタリング、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	訪問支援を行った者が定期的に連携をとっています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	必要に応じて関係機関と連携をとり、状況を報告したり支援方針について提案をいただくようにしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	中学への移行支援が必要な児童がおり、	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	必要に応じて専門機関と連携をとっています。外部研修も受けています。	各職員、新しい知識や支援技術の学びに努めています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	管理者が参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	訪問支援時には気づきや支援内容、方針について報告しています。また、子どもに変わった様子などあればメールや電話で連絡をいただくようにしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	行えていません。	ご家族の声もききながら、必要に応じて検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	契約時に説明を行っています。	変更等が生じた際には説明を行います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	初回訪問時には管理職の先生に事業の趣旨について説明を行っています。また、子どもに変化があったり支援が必要な状況になり、保護者から訪問の依頼を受けた際には、訪問施設に訪問目的を伝えています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	保護者の意向、子どもの意向をそれぞれうかがい、子どもにとっての最善の利益について一緒に考えるようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	保育所等訪問支援計画に同意を得て支援を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	必要に応じてメールや電話で相談をいただくようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	行えていません。	ご家族の声もききながら、必要に応じて検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	迅速に対応するよう努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	保育所等訪問に関する活動概要などの情報を発する通信等は発行しておりません。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	十分留意しています。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	メールや電話、文書、絵にかきながら説明するなど必要性に応じた手段をとるようにしています。	今後もそれぞれの方に応じて対応していきます。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		電話やメールで相談に応じられる体制を整えています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		今年度は、休み時間や昼休みなど訪問時に話し合いの時間をとっていただけることが多くありました。ご協力ありがとうございます。また、訪問時に時間がない場合は、放課後や後日改めてうかがったり、電話やメール、文書で連携を行うこともあります。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		文書、面談、電話などで共有するようにしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		十分留意しております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		お互いの立場を尊重し合うことを基盤とし、当訪問支援員にできる助言等を行っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種マニュアルを策定しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を立て、訓練等行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットなどを職員会議で検討し、再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会を設け、委員会、研修、毎月の虐待に関するセルチェック等を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束適正化委員会を設けています。現在は、身体拘束を行う必要のある子どもはいません。	今後必要のある子どもがいれば、適切に決定し、本人や保護者に適切な説明を行います。